

## 人工芝の新設を行う場合の助成制度と助成額

### 1. サッカー一部が想定された補助率85%の計算

●事業費1億5,000万円 (内訳)人工芝+防球ネット1億2,000万円 夜間照明 3,000万円
●助成額1億2,800万円 (内訳)サッカー協会6,000万円 スポーツ振興くじ6,800万円

### 2. 助成制度と助成額の計算結果

単位:千円

助成事業と助成団体	1			2		3	
	助成制度			サッカー部の想定 (補助率85%)		サッカー部の想定を再計算 (左記と同じ事業費で制度の助成率 に合わせ助成額を再計算)	
	助成対象 事業費限度額	助成率	助成限度額	事業費	助成額	事業費	助成額
<b>A.人工芝整備</b>			<b>93,000</b>	<b>120,000</b>	<b>93,000</b>	<b>120,000</b>	<b>93,000</b> <del>78,000</del>
サッカー協会	90,000	1/2	45,000		45,000	<del>60,000</del>	45,000 <del>30,000</del>
スポーツ振興くじ	60,000	4/5	48,000		48,000	<del>60,000</del>	48,000
<b>B.設備整備(夜間照明)</b>			<b>35,000</b>	<b>30,000</b>	<b>35,000</b>	<b>30,000</b>	<b>15,000</b> <del>20,000</del>
サッカー協会	30,000	1/2	15,000		15,000	30,000 0	15,000 0
スポーツ振興くじ	30,000	2/3	20,000		20,000	<del>30,000</del>	※1 20,000
<b>C.計(A+B)</b>			<b>128,000</b>	<b>150,000</b>	<b>128,000</b>	<b>150,000</b>	<b>108,000</b> <del>98,000</del>
差し引き町負担額				<b>22,000</b>		<b>42,000</b> <b>52,000</b>	
助成率(全体)				<b>85.3%</b>		<b>72.0%</b> <b>65.3%</b>	
備考						※1 スポーツ振興くじは、R3年度の助成制度では、Aの芝生化とBの設備を同一年度に助成申請できません。	

### 3. 備考

- ・人工芝+防球ネットの事業費1億2,000万円の内訳が不明のため、この事業費は全て人工芝の整備費用と仮定し計算しました。
- ・防球ネット整備の助成は、スポーツ振興くじは助成事業区分が「設備整備」となります。(助成率は人工芝整備より低い)
- ・サッカー一部が想定された助成額1億2,800万円の内訳(人工芝と設備)は不明ですが、助成額を1億2,800万円にあわせ、上記2.2の記載としています。

## サッカー協会の助成事業を活用し、改修した場合のグラウンド利用

グラウンド利用は、冬季を除く土日祝日はサッカー中心の利用となります。

## 先行事例の人工芝グラウンド利用状況

表1 平成31年度利用者数

単位：人

	市町村内者	県内者	県外者	合計	月合計/総合計
4月	335	1,285	50	1,670	8.7%
5月	565	2,890		3,455	18.1%
6月	585	2,459	450	3,494	18.3%
7月	615	615	1,420	2,650	13.9%
8月	110	995	805	1,910	10.0%
9月	425	575		1,000	5.2%
10月	661	1,505		2,166	11.3%
11月	665	1,640		2,305	12.1%
12月		75		75	0.4%
1月		75		75	0.4%
2月		80		80	0.4%
3月	75	155		230	1.2%
合計	4,036	12,349	2,725	19,110	100.0%
比率	21.1%	54.1%	14.3%	100.0%	

表2 平成31年度利用日数

単位：日

	市町村内者	県内者	県外者	合計
4月	5	12	1	18
5月	8	14		22
6月	8	11	2	21
7月	7	6	14	27
8月	2	6	11	19
9月	7	5		12
10月	8	9		17
11月	9	16		25
12月		2		2
1月		2		2
2月		2		2
3月	1	3		4
合計	55	88	28	171
比率	32.2%	51.5%	16.4%	100.0%

※上記日数は、同日に市町村内者と県内者の利用があった場合、両方にカウントしており、実利用日より多くなっています。  
(実利用日は157日)

## 人工芝と天然芝の比較表

中電技術コンサルタントの比較をもとに作成

項目	人工芝	天然芝
安全性	△ クッション性は高いが衝撃吸収性は天然芝に比較して乏しい。 長時間の利用時は特に疲労度が大きくなる。	◎ 衝撃吸収性が大きく安全性が高い。 スライディング時の怪我防止など安全にプレーが可能。
耐暑性	△ 充填物の改良や散水システムを利用し軽減できるが、天然芝に比べ地表面温度は高温。夏季の地表面温度は65℃以上になる可能性がある。	◎ 照り返しは軽減されるが湿度はやや上昇する傾向にある。 夏季の地表面温度は40℃程度。
利用度	◎ 降雨中・降雨直後でも使用可能。 積雪時以外は基本的に利用可能。	△ 降雨後は、床土が緩む為使用を控えることが望ましい。 芝の養生のため、冬季は使用に差し支えがある。
維持管理	◎ 天然芝に比べ労力が少ない。	△ 芝刈り、散水など労力が多い。
耐久性	△ 概ね10年を目安に改修が必要。	○ 擦り切れ部を補修し、適切な管理により恒久的に利用可能。
環境面	△ 人工芝の破片がマイクロプラスチックとして河川等へ浮遊しているとする民間の調査結果もある。 廃棄時の処理方法が問題となっている。	○ 薬剤・肥料のある程度の流出は否めない。